

## 学校経営WG「学校教育目標」「目指す子どもの姿（像）」「目指す学校の姿」の検討資料

《砂川市が目指す学校教育の姿》

## 1. 砂川市第7期総合計画

基本目標3（教育・文化・スポーツ）：『豊かな心と学ぶ力を育むまち』

■ 施策2（学校教育）子どもたちの生きる力を育み、可能性を広げるまちづくり

## 目標

子どもたちがこれからの社会を生き抜き新たな未来を拓くために、確かな学力、豊かな心、健やかな心身を育み、生涯にわたって学ぶ力を身に付け可能性を広げていく、教育の充実したまちを目指します。

## 2. 砂川市教育目標

(1) 基本理念：『豊かな心と学ぶ力を育むまち』

(2) 教育目標

【知】よりよく考え未来を生きる力を共に学び続ける人

【徳】豊かな心を持ち共に思いやる人

【文化・スポーツ】文化やスポーツ・レクリエーションを楽しみ共に健やかな成長を目指す人

【郷土】すながわを誇りに思い共に地域を支え輝く人

## 3. 砂川市教育推進計画

(1) 学校教育における重点実践目標

【知】基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、主体的に学ぶ意欲と思考力や表現力等を伸ばす教育の推進

【徳】多様な価値観を尊重し相手を思いやる心など、豊かな心を育む教育の推進

【文化・スポーツ】よりよい生活習慣を身に付け、健やかな心と体を育む教育の推進

【郷土】地域に愛着や誇りを持ち、市民が主体となって地域づくりに持続的に取り組もうとするコミュニティの形成

## 4. 砂川市教育実践方針

《砂川市義務教育学校基本構想》

## 1. 教育理念

## 児童生徒の豊かな心と 学ぶ力を育む教育の実現

生涯にわたって学び続け、豊かな人生を送ることができるよう、学びのための環境整備を進めるとともに、新たな未来を拓くため、地域と連携して子供たちの成長を支え、豊かな心や学ぶ力を育む教育の充実を図ります。

## 2. 目指す児童生徒像

【確かな学力】：よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒

【豊かな人間性】：自他の命を大切にし、思いやりのある心豊かな児童生徒

【健やかな体】：健康で安全な生活を心がけ、自ら進んで運動に親しむ児童生徒

【郷土を愛する心】：ふるさと「砂川」に誇りをもつ児童生徒

## 《学校教育目標と目指す子どもの姿及び目指す学校の姿》

### 1. 学校教育目標

#### 事務局案

唯一の市立学校となる義務教育学校においては、児童生徒・地域の実態を踏まえるとともに、市のまちづくりの方針や砂川市教育目標、砂川市教育推進計画、砂川市教育実践方針、砂川市義務教育学校基本構想、砂川市小中一貫教育推進計画を基底とした学校教育目標が設定されることが望ましい。

- 砂川市第7期総合計画                      めざす都市像：『自然に**笑顔があふれ**明るい未来をひらくまち』
- 砂川市教育目標                              基本理念：『**豊かな心と学ぶ力**を育むまち』
- 砂川市義務教育学校基本構想    教育理念：『児童生徒の**豊かな心と学ぶ力**を育む教育の実現』

このことから、改めて3つの記載に目を向け、学校教育目標として掲げるべき内容を整理すると、大きく2つの視点が浮かび上がる。

#### (1) **豊かな心** ⇒ **笑顔があふれ**

砂川市教育目標の策定にあたり、令和元年8～9月にかけて、18歳以上の市民500名、小中学校全保護者（小：492、中：355）847名、砂川高等学校2学年生徒107名の計1,454名に意識調査アンケートを実施したところ、888名（61%）から回答をいただいた。アンケートでは「知」、「徳」、「文化・体育」、「郷土」の4つの柱から、それぞれ7、6、7、4項目の計24項目から特に重点をおくべきと考える項目5つを回答していただいた。その結果、「自他の命を大切にし、人々に思いやりの心をもつ」（徳9）が57.4%、「礼儀の意義を理解し、時と場に応じたあいさつや言葉遣いを身に付ける」（徳11）が44.1%と、上位1・2位を占めた。このことから、市民の多くが子ども達に豊かな心を育んでもらいたいという願いを強くもっていることがわかる。

また、児童生徒の実態からみると、「全国学力・学習状況調査」における児童生徒質問紙調査から、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「将来の夢や目標をもっている」「人が困っているときは、進んで助けている」という、心のありようについて問う質問項目の肯定的回答率が、本市児童生徒は全国・全道平均と比較して年々上昇していたり、高い数値を維持していたりする傾向が見られる。このことは本市の子ども達の魅力であり、今後も大切に育ててあげたい資質・能力といえる。

#### (2) **学ぶ力** ⇒ **明るい未来をひらく**

上記アンケートにおいて、「知」に関わっては、「思考力や判断力、表現力を身に付ける」（知4）が42.6%、「学習の基礎・基本の確実な定着」（知2）が39.4%と、上位3・4位となっていた。これはいわゆる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」といった、学習指導要領で示されている3つの柱の2つをしっかりと子ども達に身につけてほしいという願いを、市民の多くがもっていることの証左といえる。

しかし、児童生徒の実態からみると、「標準学力検査」や「全国学力・学習状況調査」の数値結果からは、令和の時代以降（学習指導要領改訂以降）、全校平均を連続して下回る学年が多く見られる傾向にあり、確かな学力の定着に課題があることが分かる。

また、自ら課題を見だし、試行錯誤しながら意欲的に学んだり、自らの学びを調整したりといった「学びに向かう力」についても、「全国学力・学習状況調査」における児童生徒質問紙調査の結果からは、家庭学習に取り組む時間が全国・全道平均を大きく下回る数値が経年で見られることから、本市の子ども達の課題であるといえる。

これらを踏まえ、砂川市義務教育学校の教育目標を設定する。

**「自分を磨き、ともによりよい未来を創造する子どもの育成」**

「自分を磨き、ともによりよい未来を創造する子どもの育成」

- ・「豊かな心、確かな学び」  
＜共生／徳・郷土＞ ＜自立／知・体＞
- ・砂川に学び 未来に向かって ともにささえ合い、きたえ合う子どもの育成
- ・ふるさとを愛し 互いにつながり学びあい 思いやりにあふれ、心身共に健康な砂川っ子の育成
- ・自他を尊重し、高め合い、よりよい未来を創造する子供の育成
- ・幸せな未来へと 学び続け 心豊かで 健やかな 砂っ子の育成
- ・ふるさとを愛し 互いにつながり学びあい 未来をたくましく切り拓く砂川っ子の育成

「自分を磨き、よりよい未来を創造する子どもの育成」

学校教育目標のつくりは様々あるが、文言が長くなると目標が置き去りになる可能性があることから、「ともに」を削除し、当初案通りとする。

当初案においても、「知」「徳」「体」「郷土」を包含する子どもの育成という表記になっていると考える。

## 2 砂川学園「目指す子どもの姿（像）」

### 事務局案

本市では、令和4年4月に策定した「義務教育学校基本構想」において、目指す児童生徒像を次のとおり定めている。

- 【確かな学力】：よりよく考え、自ら進んで学習に取り組む児童生徒
- 【豊かな人間性】：自他の命を大切にし、思いやりのある心豊かな児童生徒
- 【健やかな体】：健康で安全な生活を心がけ、自ら進んで運動に親しむ児童生徒
- 【郷土を愛する心】：ふるさと「砂川」に誇りをもつ児童生徒

この像を基本とし、より具体的かつイメージがわかりやすい表現に改め、砂川市義務教育学校の目指す子どもの姿を次のとおり設定する。

- 【知】よりよく考え、主体性と協働性を高めながら学び続ける子
- 【徳】思いやりにあふれ、豊かな人間性をもって人とともに生きる子
- 【体】進んで運動に親しみ、安全で健康的な生活をつくる子
- 【郷土】ふるさとのよさに触れ、夢と志を抱いて未来を切り拓く子

**「知」 よりよく考え、主体性と協働性を高めながら学び続ける子**

- ・多様な考えにふれ、自ら進んで学習に向かう子
- ・夢や希望を持ち、他者と協働し、学び続ける子ども
- ・全ての子どもが主役となり、夢や目標に向かって、多様な方法で学び続ける子
- ・原案支持
- ・原案支持
- ・全ての子どもが主役となり、夢や目標をもって、多様な方法で学び続ける子

**「知」 よりよく考え、主体性と協働性を高めながら学び続ける子**

啓発

思考は人間形成の根幹であることから、砂川市教育目標に掲げられている「よりよく考える」子供の育成を本校の学びの基盤とする。また、将来を予測することが困難な時代を生きる子どもたちには、常に知識や技能をアップデートし続ける力を育むことが肝要であり、「学び続ける」資質・能力の育成が、学校教育には強く求められる。

さらに、「学び続ける」生涯を送るうえでは、自ら疑問を追究し続ける「主体性」と、様々な人々と英知を結集させながら新たな考えに到達する「協働性」は欠かせない視点であり、最新のテクノロジーを駆使した新たな学びなどの多様な方法を通して、自らの「主体性」と「協働性」を不断に高めていくことは必須である。そうしたことを踏まえ、当初案のとおりとする。

**「徳」 思いやりにあふれ、豊かな人間性をもって人とともに生きる子**

- ・自他の尊厳を大切に、よりよい生活を送ろうとする子
- ・自他を思いやり、お互いを認め合う優しい子ども
- ・多様な他者とよりよくかかわり、主体的に課題を解決していく子
- ・原案支持
- ・原案支持
- ・多様な他者とよりよくかかわり、主体的・自治的に課題を解決していく子

**「徳」 思いやりにあふれ、豊かな人間性をもって人とともに生きる子**

真心

「思いやり」「親切さ」「やさしさ」は、これまでの各種調査結果から常に高い数値を残している本市の子どもたちのストロングポイントといえる。こうしたよさが育まれてきた背景には、これまで本市が取り組んできた様々な教育活動があり、その財産をしっかりと引き継ぐことが重要といえる。さらに、これからの社会を生きる上で必要になる「多様性の受容」という視点を組み入れ、「人とともに」が明記された当初案のとおりとする。

**「体」 進んで運動に親しみ、安全で健康的な生活をつくる子**



- ・進んで運動に親しみ、健康で安全な生活を送る子
- ・元気よく、健やかに、たくましく生きる子ども
- ・心身ともに健康でたくましく、進んで運動を楽しむ子
- ・原案支持
- ・原案支持
- ・心身ともに健康でたくましく、進んで運動を楽しむ子



**「体」 進んで運動に親しみ、安全で健康的な生活をつくる子**

**壮健**

予測困難な時代、未知の感染症や想像もしないような自然災害等の発生により、これからの時代を生きる子どもたちにとっては自らの命を守るための安全意識や危機回避能力の一層の向上が求められる。そのことを念頭に、「安全で健康的な生活」を自らの意思で「つくる」子どもを育成することを目指し、当初案のとおりとする。

**「郷土」 ふるさとのよさに触れ、夢と志を抱いて未来を切り拓く子**



- ・ふるさと砂川に誇りをもち、夢と志を抱いて未来を切り拓く子
- ・「砂川」に誇りを持ち、地域とのつながりを大切にする子ども
- ・ふるさと砂川に誇りをもち、地域の未来を切り拓く子
- ・ふるさとのよさに触れ、夢と志をもとに未来を切り拓く子
- ・ふるさと砂川のよさを実感し 幸せな未来を切り拓く 砂っ子
- ・ふるさと砂川に誇りをもち、地域に貢献しようとする子



**「郷土」 ふるさと砂川に誇りをもち、地域を支え未来を切り拓く子**

**貢献**

「よさに触れる」ことを通して、最終的に目指すべきは、砂川市教育目標にある「ふるさと『砂川』に誇りをもつ児童生徒」の育成であり、そうした意識をもった子どもたちこそが、人口減少、超高齢化の進展するわがまち、ひいてはこの国を支え、新たな未来を切り拓いていくということを念頭に設定した。

### 3 砂川学園「目指す学校の姿」

#### 事務局案

学校における主人公が「子ども」であることは言を俟たない。本校に集う、本市の全ての子ども達が自らのよさや可能性に気付き、他者と協働しながら将来に必要とされる「資質・能力」を身に付けながら生き生きとした人生を送ることこそが、保護者、地域住民の願いであり、その実現を図ること一点によって、学校は信頼されると考える。ただ、子ども達に光を当て、輝かせることができるのは、最も間近で指導・支援を行う教職員一人一人が持てる力を最大限に発揮し、相互補完し合いながら質の高い教育活動を推進できる環境があつてのことである。

そうしたことを踏まえ、目指す学校の姿を次のように設定する。

**全ての子どもが輝き、教職員が最大限の力を発揮することができる  
保護者や地域住民に信頼される学校**

#### 学校経営WGでの協議

事務局案を支持で一致

**全ての子どもが輝き、教職員が最大限の力を発揮することができる  
保護者や地域住民に信頼される学校**